

～大雪・暴風雪に対するそなえは出来ていますか？～

暴風雪などによる被害防止について



冬は、急速に発達した低気圧の影響により、大雪・暴風雪などによる災害が発生します。

特に、平成 25 年 3 月にはオホーツク・根室管内等において 9 名の方々が亡くなるなど、冬期間は、暴風雪による停電や遭難といった災害が多く発生しています。

日頃から気象情報にチェックして、暴風雪が予想されるときは、家のなかで過ごすなど外出を避けましょう。

《家の中で安全に過ごすために》

- ・ 停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオ、電気を使わない暖房器具（ポータブルストーブ）なども準備しておきましょう。
- ・ 外出できない場合に備えて、食糧や飲料水などを備蓄しておきましょう。



《やむを得ず車で外出するときは》

- ・ 携帯電話でも気象情報や道路情報を取得できますが、地域によっては電波が弱い場所もあるため、道路状況に応じた無理のない運転を心掛けましょう。

《もしも吹雪で車が動けなくなったときは》

- ・ 冬期間は地域により天気が急変し、車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出掛けましょう。



- ・ 運転をしていて、地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずにコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどの安全に駐車出来る場所で天気の回復を待ちましょう。



- ・ 大雪や吹きだまり等で車が立ち往生した時は、ロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。

- ・ 避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119 番）や警察（110 番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。

- ・ 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気し、こまめにマフラーのまわりを除雪してください。



暴風雪へのそなえの為のリーフレット

暴風雪の発生が懸念される厳寒期を迎え、暴風雪に対する備えを改めて確認し、被害の防止・軽減を図るためのリーフレットを活用ください。

【北海道ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/index.htm>】

◎「できていますか？暴風雪への備え！」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/boufuusetsu-leaf.pdf>

◎「暴風雪への備え！ミニノート」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/bousai-note.pdf>

◎「楽しい雪とあばれる雪～暴風雪は危険がいっぱい！～」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/boufuusetsu-child.pdf>

